令和7年度　妻鳥小学校　学校だより　第5号
令和7年5月2日

笑顔きらきらえひなの子

参観日・学級懇談会・PTA 総会、お世話になりました。

４月２７日（日）、令和７年度初めての参観日を行いました。たくさんの保護者の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。

新学期が始まって２週間が経ち、子どもたちは、新しい環境にも慣れてきて落ち着いて学習に取り組むことができていました。張り切って発表したり、真剣に先生や友達の話を聞いたり、どの子もよく頑張っていました。新しい学年になり、やる気いっぱいの姿を見せてくれました。

学級懇談会では、学級担任から進級してからの子どもたちの様子や学級の指導方針などについての話がありました。短い時間でしたが、学級担任と保護者の皆様が話をする貴重な機会となりました。

PTA 総会では、教職員の紹介や PTA 活動についての報告、新役員の紹介などがありました。いよいよ、本格的に令和７年度の PTA 活動がスタートします。また、校長から学校のグランドデザインの説明や「しつけの３原則」についての話をしました。

「一人一人のいのちが輝く魅力ある学校」を目指して、学校・家庭・地域が一体となって取り組んでいきたいと思っています。保護者の皆様もどうぞよろしくお願いいたします。

1年生　国語
あさのおひさま

2年生　国語
春がいっぱい

3年生　国語
国語辞典を使おう

4年生　国語
カンジーはかせの都道府県

5年生　算数
比例

6年生　社会
わたしたちのくらしと
日本国憲法

かえで・もみじ・すみれ　自立活動
みんなのことをもっと知ろう

『しつけの三原則』 ～挨拶・返事・履物揃え～

本校では、望ましい生活習慣の確立に向け、育ちの基礎として『挨拶・「はいっ」の返事・履物揃え』を大切にし、習慣化できるように取り組んでいます。これは、国民教育の父と言われる、教育哲学者の森信三氏が、『しつけの三原則』として提唱されたものです。

挨拶は、人と人を結ぶコミュニケーションの一つです。元気の良い挨拶は、自分の存在をはっきりさせます。「ぼく、わたしは、ここにいます。しっかりと生きています。」と。そして、挨拶は心と心を結びます。自然と挨拶ができる習慣が身に付くよう、ご家庭で積極的に挨拶をしたり、保護者の皆様がいろいろな場所や場面で挨拶する姿を見せていただいたりするなどしていただけるとうれしいです。

「はい」という返事もコミュニケーションの受け手として挨拶と同じくらい重要です。「はい」と返事のできる子は、素直な心を持っている子です。また、「はい」という返事は、「相手の言っていることが理解できた」「しっかり聞き取れた」「承諾した」という合図です。「はい」と返事をした以上、「知らなかった」「聞こえなかった」という言い訳ができなくなります。「はい」という返事は、子どもの責任感を育むことにもつながります。ご家庭でも名前を呼ばれたら、すぐ歯切れのよい返事ができるように声掛けをしてみてください。

体は「いのち」そのものです。「いのち」を支えるのが足です。その足を守るのが「履物」です。だからこそ、「履物」は大切です。履物を履くというのは、今から家を出て外の生活を始めるということであり、履物を脱ぐというのは、戸外の生活を遮断し、今から家庭内の生活に切り替えるということを意味します。履物を脱いで履き替え、履物をそろえることは、自分を振り返り行動にけじめをつけることであり、次への心構えを作ることになります。ご家庭でのお子様の履物はどうなっているでしょうか。

森信三氏いわく、しつけが身に付くと、子どもの「我」がとれるそうです。「我」がとれるということは、素直な気持ちになるということであり、心の受け入れ態勢が整うということです。こういう子どもは、何でも学び、吸収し、伸びていくことができます。しつけは、「し続ける」とも言います。学校と家庭・地域が連携しながら、『しつけの三原則』で提唱されている三つのことが自然にできるように取り組んでいきたいと思います。本物は続きます。続けると本物になります。子どもたちが気持ちよく生活できるよう、『生きる力』を付けていきたいと思います。ご協力よろしくお願いいたします。

明日から４連休です。楽しい連休になるように、学校でも連休の過ごし方について指導しています。ご家庭でも声掛けをよろしくお願いいたします。連休明け、子どもたちが笑顔で登校してくるのを楽しみにしています。なお、連休中に何かありましたら、長期休暇用連絡フォームにてご連絡ください。